

第7回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会会議録

- 1 開 会 平成25年3月28日（木） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席委員 宮菌委員長、上石委員長職務代理委員、宮原委員、杉野委員、小野島委員、丸山委員、小越委員、阿部委員、関委員、石黒委員、鈴木委員、住吉委員
- 4 説明のための出席者
池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、高野教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長、野水教育総務課庶務係主任
- 5 傍 聴 人 1人
- 6 会議次第
 - (1) 開 会
 - (2) 会議録の承認
 - (3) 報 告
 - ア 三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会設置要綱の一部改正について
 - イ 校章募集要項について
 - (4) 議 事
 - ア 校歌作成のための児童アンケート調査について
 - イ 校章デザインの選定方法について
 - ウ 校歌の専門家への依頼について
 - (5) 次回制定委員会の日程について
 - (6) その他
 - (7) 閉 会

7 審議の経過及び結果

(1) 開会

(宮菌委員長)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。年度末で非常に忙しいところかと思いますが、有意義な会議にしていきたいと思います。それでは開会に先立ちまして、教育部長より一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

(教育部長)

委員長もおっしゃいましたが年度末で本当にお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。前回は2月ということで、1か月くらい前は非常に寒かったのが1か月经つとこんな風になるんだなと思っておりますし、春は今、桜の便りも例年より1週間ほど早いのではないかと思います。

年度末はご承知のとおり別れの季節でもございます。今日は第7回目ということでございますが、第1回目から第6回目まで三条小学校長会会長の立場として、委員としてご参加くださっております丸山委員が三条小学校の校長先生を3月31日をもって退任されることに伴いましてこの委員を勇退されるということでございます。丸山先生におかれましては、第1回から第6回まで本当に子どもの目線、それから教員としての目線から、この委員会に対して貴重なご意見をいただきましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

校名等制定委員会として1番大きな議題でありました校名につきまして、さとう前にこの委員会ではご決定をいただいて、教育委員会でも決定をさせていただいたところでございますが、最後のハードルとなっておりました三条市議会での三条市学校設置条例の一部改正をもって初めて完結するわけであります。その議会が3月26日に無事終了いたしました。おかげ様をもちましてご決定いただきました嵐南小学校、位置は三条市南四日町1丁目1番1号ということできれいに全てご決定いただきましたので併せてご報告を申し上げます。

前回に引き続き校歌それから校章につきまして、より具体的にご議論いただければと思っております。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(宮菌委員長)

それでは、ただ今から平成24年度最後となります第7回三条市(仮称)第一中学校区統合小学校校名等制定委員会を開催いたします。本日の会議の成立についてご報告申し上げます。本日の会議は委員12人全員の出席をいただいておりますので、三条市(仮称)第一中学校区統合小学校校名等制定委員会設置要綱第5条第2項の規定により、本日の会議が成立することをまず、ご報告申し上げます。

(2) 会議録の承認

(宮菌委員長)

最初に会議録の承認について議題といたします。第6回会議録についてご発言があればお願いしたいと思います。

ないようですので、会議録につきましては承認することでご異議がございませんでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

(宮菌委員長)

なお、非公開部分の会議録につきましては私の方で確認させていただくことでよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし委員長が確認することで決定

(3) 報告

ア 三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会設置要綱の一部改正について

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

事務局から委員会設置要綱の一部改正について説明をいただきました。この内容につきましては、本委員会が承認する権限はないかと思いますが、何かご質問ご異議はありますでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

(大平教育総務課長)

1人増員させていただくお話でございますけども、校章の検討に入りますので、デザイン的な視点から検討いただくということで燕三条デザイン研究会の方をお願いしたいと考えております。その辺でご意見あればいただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(宮菌委員長)

ただ今事務局の方から方針が示されましたが、これから校章等の検討を進めるにあたって、専門の方に参加いただきたいということですが、ご意見いかがでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

イ 校章募集要項について

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

募集要項の選考と発表の中で、「応募された作品は三条市立嵐南小学校校名等選定委員会で選定し」という形に修正するという。そして、もう1つは応募条件の語句の統一ということです。窓口に関しては前回と同じような形にしたいという提案がされました。これについてご質問ご異議ありますでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

(4) 議事

(宮菌委員長)

それでは、議事に入ります。

議事に入る前に、1点確認させていただきます。本日の議題の(3)校歌の専門家への依頼についてですが、この件につきましては前回の委員会におきまして、全会一

致により非公開で議論させていただきましたが、今回についても具体的な個人名を挙げての議論となりますので、前回に引き続き非公開とすることでご異議ございませんでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし非公開とすることに決定

ア 校歌作成のための児童アンケート調査について

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

ただ今、ご説明いただきましたが、何かご意見ご質問ございますか。

(宮原委員)

アンケートは良いと思いますけども、「新しい小学校についてのアンケートのお願い」ではなく「新しい校歌についてのアンケートのお願い」ではないでしょうか。学校の運営についてのアンケートではなく、あくまで校歌についてなので「新しい校歌について」の方がスッキリするのではないかと思います。

(宮菌委員長)

今そういうご意見がございましたが、いかがでしょうか。

(上石職務代理委員)

おそらく校歌を作成するための願いということが「小学校についてのアンケート」に入っているのではないかと思うので、このままでも良い気がします。

(宮菌委員長)

ここは学校現場の先生に、子どもたちに説明する時にどちらの方が伝わりやすいかご意見をいただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(小野島委員)

これを基に学年に応じた説明をしなければならぬし、アンケートの文章の中に校歌を作るためにアンケートを実施するとあるので、学校全体に対するイメージや思いよりも、当然校歌に対する思いが出てくるのだろうなと私は思います。だから、対象者のところで詳細は学校に一任しますということでもありますので、ある程度学校に任せてもらっても心配はいらないのではないかと考えています。

(丸山委員)

同じです。

(宮原委員)

先生の説明も聞くのでしようけれども、家に持って帰って子どもの説明も聞かないで親が考えた時に、プラスの話なら良いがいろいろな意見が出るといけないので、校歌に限定した方が良いと思います。

(宮菌委員長)

そうすると「新しい校歌についてのアンケート」なのか「新しい校歌を作るためのアンケート」なのか、事務局お願いします。

(大平教育総務課長)

たしかにこの表現ですと、いろいろな捉え方もされますので、タイトルを「新しい小学校の校歌について」に修正させていただきたいと思います。

(宮菌委員長)

事務局提案として、「新しい小学校の校歌についてアンケートのお願い」という形でご異議なければよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

(阿部委員)

アンケートの文章で「一緒になって新しく」ではなく生徒たちと一緒にいる実感が湧くような文章が良いと思います。例えば「児童の皆さんと一緒に学ぶ」というような文章が良いと思います。

(上石職務代理委員)

3つの学校が一緒になるが、子どもたちはどうして一緒になるのかわかっているのでしょうか。

(宮菌委員長)

アンケートにそこまで入れるのは難しいのではないのでしょうか。

(池浦教育部長)

子どもに限らず大人の方を含めてここを端的に一言で言える方は、残念ながらまだ少ないという現状であります。振り返れば、合併まで戻ってしまいますが、平成17年5月1日に三条市、栄町そして下田村が合併して新しい三条市が誕生しました。三条市という名称は使いますが、新たな市が誕生したということで、新しい市における新しい教育基本方針が必要だということに、実はこの発祥があるわけでございまして、そこで新しい市における新しい教育基本方針、これについて検討委員会を立ち上げてご議論いただき、理念形成をさせていただきました。ただ基本方針というのはあくまで理念形成でございますので、よりそれを具現化した形で三条市の教育はどうあるべきか、これを議論するために約1年2、3か月をかけまして、教育制度等検討委員会で、有識者の方々及びそれぞれの代表の方々からしっかりとご議論いただく中で、三条市教育制度等検討委員会からご報告をいただき、それを私どもは目安としてやったわけでありまして。その中で取り上げられた大きなテーマが2つありました。1つは小中一貫教育でございます。これは義務教育を9か年しっかりと育てていく必要があるという視点が大きな1つ。もう1つが、もっと下からの幼保小の連携。もう三条市で生まれた子どもたちはそこからしっかりと少なくとも義務教育が終了するまでは、教育委員会としてしっかりと責任を持ってやっていくべきだと、この2つが大きな柱でございます。そういうことを踏まえまして、平成20年には文科省の組織とは少し違いますが、従来あった生涯学習課や社会体育課これを市長部局に移管する代わりに、厚労省管轄でございます子育て支援の関係につきまして、教育委員会に取り込んで、今の提言に沿うべくマタニティー段階から義務教育が終了するまで、あるいは青少年育成健全を含めまして、教育委員会が所管したという形でございます。も

う一方の小中一貫教育につきましては、その後さらに具体的にどうあるべきなのかということの議論を深めなければならないということで、平成 21 年度には小中一貫教育基本方針を策定するべく、小中一貫教育検討委員会を立ち上げて検討させていただいた結果でございます。小中一貫教育の義務教育 9 か年をしっかりと見届けていくというソフトの議論と併せて、教育環境の整備において老朽化した四日町小学校、条南小学校、第一中学校につきましては、ハード的にはもたない。こういう現状の中で、小中一貫教育で言う理想の教育形態は一体型校舎が一番理想だろうというところで、ハード整備を併せまして三条高校跡地に一体校を作ると言うところに至ったということが、簡単に申し上げる経緯でございます。

だから、一言でここを説明しろと言えば、そういったハード面、ソフト面を両方合わせた中で、理想の教育を実施するべくここに統合して一中学区一体校を作る、この一言になるかと思えます。

この件に関してはご案内のとおり、その地域の一部の方々からは、そうではないんだという、厳しいご批判を今もいただいているという現状であります。それで、上石委員のお答えになるかどうかわかりませんが、出来ましたらこのアンケートにつきましては、子どもたちが現場を理解するかということも大事な視点であります。ここではピュアな気持ちだけで思いを語っていただいた方が、私どもとしてはありがたいという思いはしておりますので、その辺ご理解いただければありがたいなと思っております。

(宮菌委員長)

一応そういう背景の中で子どもたちに校歌への思いを記載していただくということに限定させていただきたいと思っておりますのでご了承ください。

先ほどの阿部委員からの文言を少し変えたらどうかというご意見もありましたが、どうでしょうか。

(小野島委員)

私はこのままで良いと思えます。理由は、私は毎日校舎を横目で見ながら子どもたちに話をしているのですが、素晴らしい校舎ができるのでそれに向かって自分たちの可能性を広げるんだと、それから未来に向かって自分たちはがんばるんだとその辺のところをここ半年ぐらひは強調していて、それが子どもたちにとっては一番の意義だと私は思っています。その辺のことを子どもに話しながら、アンケートを書いてもらおうと思っております。

先ほど学ぶというような話が出ましたけれども、子どもにとって校舎とは学ぶ場ばかりではなく、遊び場であり一緒に活動するような場など様々な一人一人の思いがあるので、あまり文章をくっつけて限定するよりもこのまま出した方が子どもの思いが素直に出てくるのではないかと思います。

(宮菌委員長)

では、原案のとおりでよろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし原案のとおりと決定

(宮菌委員長)

ほかに何かありますでしょうか。

(関委員)

対象者に一中の生徒は入れないのでしょうか。3年生までが無理だとしたら、せめて1年生なら卒業して間もないタイミングなので、卒業したからこそわかる自分の母校とか新しい学校への思いなんていうのも出てくるのではないのでしょうか。

(宮菌委員長)

事務局、いかがでしょうか。

(大平教育総務課長)

その点につきましては、事務局としても、どの範囲までを対象とするか検討させていただきました。あくまでも新しい小学校ということで、今回提案させていただいているとおり、新4、5、6年生ということでさせていただきたいと思っておりますし、中学校となると中学校の方にお願いがあがりたりする必要もあります。確かにおっしゃられる様に、卒業したばかりですので、それなりの思いはあるとは思いますが中学校に行つて小学校の校歌の思いをお願いするよりは、小学校に行つてお願いをした方が一番良いだろうということでこういう提案をさせていただいておりますので、できましたらこの提案どおりお願いをさせていただければと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

(関委員)

自分の子は小学校に思い入れが強いので、関わらせてあげた方が良いのではないかと思つて。

(大平教育総務課長)

では今の件につきましては、第一中学校にご相談させていただいて、その結果につきましては、お任せいただく形でよろしいでしょうか。

(関委員)

はい。

(宮菌委員長)

では、事務局の方で可能かどうかご検討いただいて、もし中学校でも大丈夫ならそこまで範囲を広げてもよろしいでしょうか。

(丸山委員)

中学に行つた子どもは中学校の生活の方に向いているため、原案どおりが良いと思ひます。

(小野島委員)

子どもに今期待しているものは、感謝の気持ちと校舎への思い出と未来への夢と、この3つを子どもに期待しているのですが、中学生になると未来はとりあえず聞かなくて良いと。校歌には感謝や思い出よりも、未来や頑張る気持ちを入れた方が良いと思うので、中学生に聞かなくても良いと思ひます。

(高橋学校教育課長)

私は学校の校長もやつたこともありますので、校長先生の気持ちも良く分かるのですが、教育委員会は校歌を作るためだけにアンケートをしたい感じがあるのですが、でも校長先

生は、新しい学校に対する子どもたちの夢や希望を聞くことで、このアンケートを通して指導をしたい、そう考えていらっしゃるように思えるのです。そういう意味で、学校がこのアンケートを通して子どもの指導の一貫で子どもたちの夢が育まれて、結果としてこのアンケートが使えるのであれば、とても良いことなのではないかと思います。校長先生は絶対にただ配るということではなくて、子どもたちと夢を育むという様な中でやりたいということです、そんなふうに学校にお願いすれば良いのかなと思うのですが。

(宮菌委員長)

先ほど課長の方からありましたけれども、学校にお任せして原案のとおりお願いするということによろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし原案のとおりと決定

(宮原委員)

アンケートの最後に、「ご協力ありがとうございました」とありますが、子どもに対してご協力という言い方はどうかと思うのですが。

(高橋学校教育課長)

みんなで頑張ろうなどのイメージの言い方の方が良いと思います。

(宮原委員)

提出をお願いしますだけでも良いのではないのでしょうか。

(上石職務代理委員)

私も子どもに対して敬語を使うことがありますので、このままでも良いのではないですか。

(高橋学校教育課長)

子どもたちに対して夢のある言葉に置き換えても良いのではないかと思います。その辺は事務局に任せただけだと思います。

(宮菌委員長)

では、事務局にお任せいたします。

イ 校章デザインの選定方法について

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

校章の募集期間が5月31日までとなっておりますけれども、事務局の作業などが入りまして、第8回が6月下旬頃、そして次が7月という日程でございますが、何かご質問ご意見ございましたらお願いします。

(関委員)

こちらの資料に第8回と記載がありますが、次第に次回委員会の日程について4月と書いてあるので、回数表記が違うのではないのでしょうか。

(大平教育総務課長)

確かにそのとおりでございますが、次の議題の中で校歌の進捗状況もありますので、そ

れらの中で今後の予定が若干変更になることもありますので、その辺は修正をさせていただきますが、回数表記よりも時期の方で確認をお願いしたいと思います。

(宮菌委員長)

では、委員会の回数表記については、調整が必要となってくるということでお願いします。

選定日時の時期と手順、ここについていかがでしょうか。ご異議がなければこれで決定したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

○全員異議なし承認と決定

[以下、非公開]

(5) 第8回制定委員会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のおり決定する。

日時 平成25年4月30日(火) 午後1時30分

会場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉 会 午後2時45分